

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム中小田井

目標達成計画

作成日: 平成30年12月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束について、定期的に検討する取り組みが必要である	定期的に身体拘束について振り返る、話し合う、勉強する機会をもつ	施設内研修だけでなく職員会議や普段のミーティングの中でも自分たちの介護が身体拘束にあたっていないか振り返りの場をもつ	3ヶ月
2	26	介護計画の内容に合わせた記録を残す必要がある	介護計画と日々の記録がリンクするようにする	記録の様式を変更し、介護計画とリンクするようにする	3ヶ月
3	35	災害対策について、避難訓練だけでなく備蓄品の確保と職員の周知が必要である	避難訓練と備蓄品の周知で有事の際に動けるようにする	年2回の避難訓練だけでなく、新しい職員には個別で行う。備蓄品の場所と種類は全職員が把握できるように周知を行う	3ヶ月
4	11	非常勤職員が多く、職員間での話し合いの機会が難しい現状もあるが、職員間での意見交換の機会を増やす必要がある	常勤・非常勤関係なく意見交換できる機会を増やす	日常的なミーティングを多くし、常勤・非常勤隔てることなく情報共有できるようにする	6ヶ月
5	4	運営推進会議の家族の参加について、現状限られた方の参加になっている	他の家族にも参加して頂くように働きかけをし参加して頂く	他の家族にも参加を呼びかけ参加して頂く	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。